

気候情報

2019年6月の日本の天候

- 沖縄・奄美では、降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった
- 西日本の降水量は少なく、東・西日本の日照時間は多かった
- 北日本の気温は高かった

6月の天気概況

太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、梅雨前線は日本の南海上に停滞しやすかったため、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多くなった。一方、本州付近は気圧の谷がたびたび通過したが、梅雨前線の影響を受けにくかったため、東・西日本の日照時間は多かった。27日からは台風第3号が本州南岸を通過し、梅雨前線の活動も活発となって東日本日本海側や西日本太平洋側を中心に大雨となった。上旬は暖かい空気に覆われやすく全国的に気温が高かったが、中旬は寒気に覆われやすかったために気温が平年を下回る時期があった。

上旬：梅雨前線は沖縄・奄美付近から本州南岸に位置しやすく、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多くなった。7日から8日に低気圧が日本海から日本の東海上に通過し、東海、北陸、関東甲信、東北南部では7日頃に梅雨入りした（速報値）。全国的に気温が高かった。

旬平均気温は、北・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。

旬降水量は、東日本太平洋側でかなり多く、東・西日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。北・西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側では少なかった。北日本太平洋側、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

中旬：梅雨前線は本州の南海上に停滞しやすく、東・西日本太平洋側を中心に曇りや雨の日が少なかったが、15日から16日には前線を伴った低気圧が北・東・西日本を通過して雨が降り、東北北部では15日頃に梅雨入りした（速報値）。北からの冷涼な空気が流れ込んで東・西日本では気温が低くなった。沖縄・奄美では梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で低かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側と東・西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本太平洋側でかなり多く、東・西日本日本海側で多かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：期間の前半は梅雨前線が本州の南海上に停滞して、東・西日本では晴れた日が多かった。九州北

部、四国、中国、近畿の各地方は梅雨前線が北上した26日頃に梅雨入りしたが、それぞれ1951年以降で最も遅い記録となった（速報値）。沖縄地方では太平洋高気圧の張り出しが強まり29日頃に梅雨明けした（速報値）。

旬平均気温は、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美では低かった。北・西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本、東日本日本海側、沖縄・奄美は多かった。一方、西日本日本海側では少なかった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なかった。一方、東日本日本海側と西日本では多かった。北日本と東日本太平洋側では平年並だった。

6月の気候統計

月平均気温：北日本で高かった。東・西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と東日本で多かった。西日本では少なく、北日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：沖縄・奄美でかなり少なかった。東・西日本では多く、北日本では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

6月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
洲本（兵庫県）22.7
- ・月降水量多い方から（mm）
石廊崎（静岡県）564.0など2地点
- ・月間日照時間少ない方から（h）
名護（沖縄県）80.4

2019年6月の平年差（比）図

